

ココシリ

「ここが知りたい」
国際協力に関する
いろんなトピックを
分かりやすく解説します！

第3回TICAD閣僚級フォローアップ会合

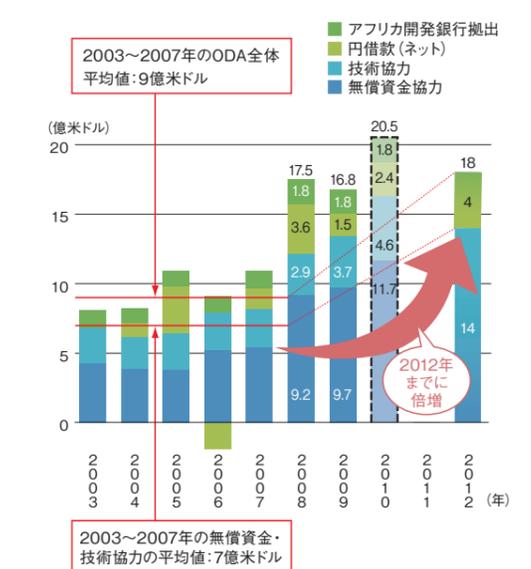
アフリカ

東日本大震災、ODA削減・・・ それでも日本は アフリカを支援する！



今年5月に開催された第3回TICAD閣僚級フォローアップ会合で松本外務大臣は、東日本大震災に対するアフリカ各国からの支援に感謝を表明。日本として引き続きアフリカを支援していく決意を述べた

■日本の対アフリカODA総額(債務救済分を除く)



日本は、2008年のTICADIVでアフリカ向けのODAを2012年までに倍増することなどを約束。その達成に向けた取り組みが進められている

2 008年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議(TICADIV)で、2012年までにアフリカ向け政府開発援助(ODA)の倍増などを約束した日本。しかし一方で、東日本大震災の影響でODAが削減されることになった。約束の年まであと1年、果たして公約は達成できるのだろうか。

TICADとは、アフリカのオーナシップ(自助努力)と国際社会のパートナーシップを基本理念に、アフリカの開発について話し合う国際会議のこと。1993年以降、日本政府が主導し、国連機関や世界銀行などとともに5年に1度開催している。

08年に横浜で開かれたTICADIVでは、「成長の加速化」「ミレニアム開

発目標(MDGs)の達成」「平和の定着・グッドガバナンス」「環境・気候変動問題への対処」などがテーマに。その成果として、日本がODAや民間投資を倍増させること、最大40億ドルの円借款を支援することなどが盛り込まれた。「横浜宣言」と、その具体的な支援策を示した「横浜行動計画」が採択された。さらにTICADIVでは、日本が約束した支援が計画的・効果的に実施されるよう、その取り組み状況を公表・評価するための「TICADフォローアップ・メカニズム」も導入されている。

この枠組みでは、「フォローアップ事務局」が日本の取り組みに関する情報収集や分析などを行い、その結果を受け「モニタリング合同委員会」が年

次進捗報告書を取りまとめ、公表している。また、関係国の関係者が一堂に会する「閣僚級フォローアップ会合」も毎年開催され、進捗状況の概観・評価のほか、今後の計画に対する政策などが提言されている。

その3回目となるTICAD閣僚級フォローアップ会合が5月1日から2日間、アフリカのセネガルで開催された。その開会式で松本剛明外務大臣は、先の東日本大震災に際してアフリカ各国をはじめ世界中から届けられた支援物資や義援金などに対して感謝を表明。国際社会から寄せられた連帯の心を踏まえ、日本はこれまで同様TICADで表明した支援策を誠実に実現していきたいとの決意が述べられた。また、松本大臣は横浜行動計画の進

捗状況について、2010年の対アフリカODAの総額が20・5億ドル(暫定値)となり、民間投資についても09年までの5カ年平均値が目標の34億ドルを上回る42億ドルであったことなどを報告。さらに今後については、「自然の猛威に直面しているのは日本もアフリカも同じ」という考えの下、東日本大震災で得られた経験などを共有するために、年内にアフリカ各国政府の防災関係者を日本に招き、セミナーを開催したいとの考えを示している。

このようにTICADIVで表明したさまざまな支援策については、東日本大震災によるODA削減が影響しないよう配慮しつつ、引き続き日本は、アフリカの発展のために貢献していくことを表明しているのだ。

ODAを知る

ODAの見える化」とは、日本のODAプロジェクトの成果や評価結果などを分かりやすく伝えていくことで、国民からODAがより見えるようにしていこうという取り組みのことだ。

そもそもこうした考え方が出てきた背景には、ODAは海外で実施されているために見えづらく、また仕組みも複雑で分かりにくいということがあった。実際、「ODAは役に立っているの?」「失敗プロジェクトが多いのでは?」という声も。こうした疑問に答えていくためにできることは。

そこで外務省は、2010年に取りまとめた「ODAのあり方に関する検討最終とりまとめ」の中で、原則としてすべてのプロジェクトの情報を開示する「ODAの見える化」

国民への情報開示を強化! 「ODAの見える化」って どういうこと?

サイトを立ち上げることを盛り込んだ。このサイトでは、プロジェクトの採択時に具体的な成果指標を、終了時には終了報告を公表し、さらに3年後をめどに実施される事後評価についても公表していく計画だ。その際、「どれだけ乳幼児死亡率が低下したか」といった具体的な成果指標を使うこと、評価報告書は専門用語を避け、写真や図表を用いることなどの工夫をしていくことだ。

現在「ODA見える化」サイトでは、国や地域、開発課題、協力形態ごとに、各プロジェクトの開始から終了まで、写真や関連記事などを通じて分かりやすく紹介されている。今後は、実施中のプロジェクトに加え、過去10年ほどに実施されたものも、順次掲載される予定。一度アクセスしてみては!?

ODAを知る

TV番組「地球VOCE」がリニューアル 国際協力に取り組む いろんな人の声を聞く!

国際協力をもっと身近に感じたい! こうした思いから2010年4月に始まった「地球VOCE」が、これまで50タイトル以上が放送された。「VOICE」とはイタリア語で「声」。番組では日本のODAをはじめ、NGOや民間企業などが世界各地で行っている取り組みとその背景などを現場で活躍する日本人や現地の人々の声を通して紹介している。

この「地球VOCE」が4月にリニューアル! ナビゲーターに女優の藤原紀香さんを迎え、番組ホームページでは動画も配信される予定だ。

4・5月の放送は、東日本大震災に際して見られた世界と日本の絆にスポットを当て、「世界は日本とともにある」特集として世界中の国々から被災地に届けられた支援の一部や、

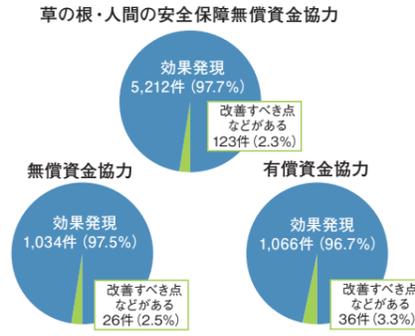
支援活動に参加する人々を紹介している。福島避難所に自ら赴き、炊き出しボランティアを行い、温かいカレーを振る舞った在日スリランカ大使のカランナゴダさん。「04年のスマトラ沖地震の時、日本の医療チームが最も早く来てくれた。あのとき助けてくれた友人の日本にできる限り協力したい」と話す「カレーに込めた感謝」5月13日放送。また、役場の方も被災してしまっただけで、震災直後から現地に駆け付け、被災者救済活動に携わっている元青年海外協力隊員の人々。「協力隊の活動で知ったのは人との助け合い」だという(途上国でのボランティア経験を被災地へ)5月20日放送。

「地球VOCE」から、日本と、世界のの人々との絆が見えてくる。



JICAホームページ内に開設された「ODA見える化」サイト
http://www.jica.go.jp/oda/

■協力形態ごとのODA効果



「ODAの見える化」の一環として、過去10年間に実施されたODAプロジェクトを調査した結果、高い事業効果が確認されている



番組ホームページでは、過去の放送内容が紹介されている
http://www.tv-tokyo.co.jp/chikyuu-v/

■最近の放送番組

回	タイトル	内容	放送日
第56回	楽しく歌って国際協力	コスヘルを楽しく歌っているまにか国際協力	2011年5月27日
第55回	途上国でのボランティア経験が被災地へ	協力隊の経験が東日本大震災の被災地支援に生かされる	2011年5月20日
第54回	カレーに込めた感謝	東日本大震災の被災地で炊き出しボランティア	2011年5月13日
第53回	出動! 国際緊急援助隊	世界中の被災地へ24時間以内に出動する国際緊急援助隊	2011年5月6日
第52回	守れ! 子どもの笑顔	東日本大震災の被災地で心のケアをするNGO	2011年4月29日
第51回	イスラエル医療団がやってきた!	東日本大震災の被災地で60人のイスラエル医療団が活躍	2011年4月22日

2010年4月から始まった「地球VOCE」。毎週金曜日夜9:54~10:00(テレビ東京) / 毎週土曜日昼12:25~12:30(テレビ東京系列)に放送中!